

メンテナンスブック(お施主様用)

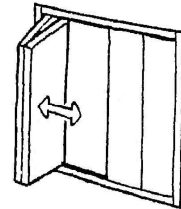
(株)オリエント

オリジナル クローゼットドア

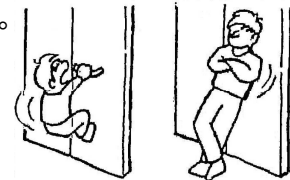
! 使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

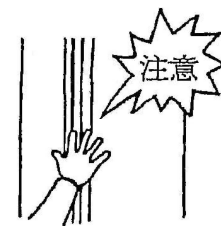
- 扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



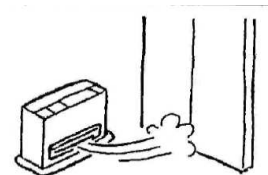
- 扉の把手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



- 扉に指を挟まないよう折れる部分に手をそえて開閉しないでください。
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



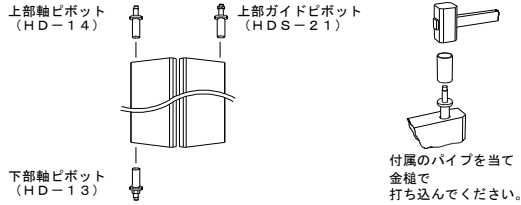
- ストープ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



■金具の取り付け方法

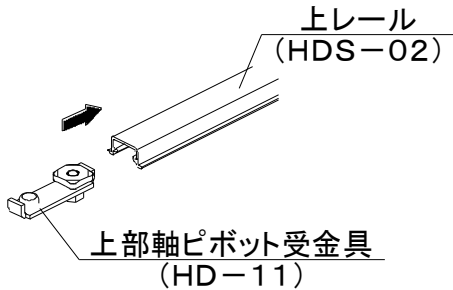
1.戸に付ける金具の取り付け

- 戸に加工した穴に、上部軸ピボット(HD-14)、下部軸ピボット(HD-13)上部ガイドピボット(HDS-21)を挿入します。



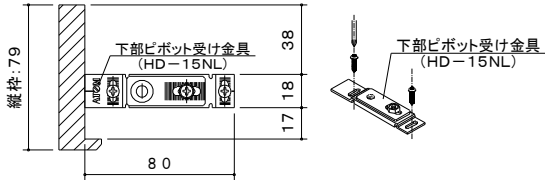
2.レールの取り付け

- 上レールを取り付ける前に、ピボット受け金具(HD-11)を上レール内に挿入しておきます。
- その後、レールを取り付けてください。



3.下部軸ピボット受け金具の取り付け

- 下部軸ピボット受け金具(HD-15NL)を指定の位置に取り付けてください。

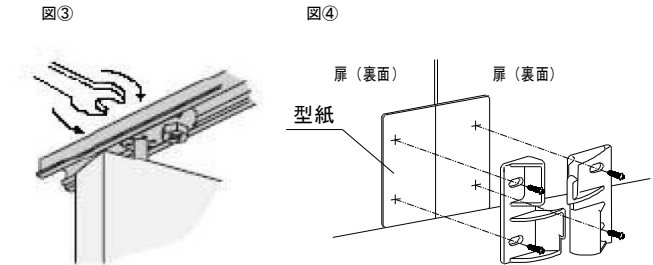
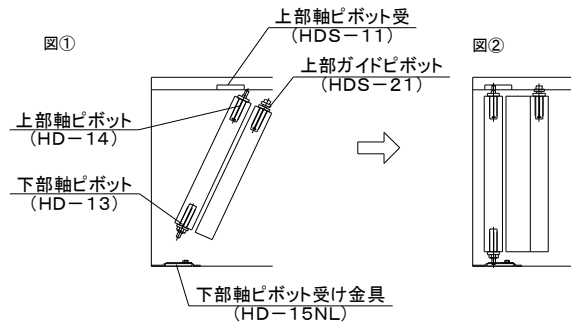


■戸の吊り込み

- 上部軸ピボット受け金具(HDS-11)は上レールに固定しないでフリーの状態にして、図①の様に下部軸ピボット受け金具(HD-15NL)よりも開き側の方へずらしておきます。
- 戸を傾けて、下部軸ピボット(HD-13)を下部軸ピボット受け金具(HD-15NL)に入れます。(図①)
- 図②のように、戸を垂直に立てていきながら、上部ピボット(HD-14)を上レール内のピボット受け金具に入れます。
- 上部ガイドピボット(HDS-21)を上レールに入れます。
- 上部吊元位置を定位置まで移動させ、最後に上部ピボット受け金具(HDS-21)をスパナでしっかりと固定してください。(図③)
- 下部振れ止めを取り付けます。(図④)
型紙を使って下穴を開け、付属ビスで取り付けてください。

【扉の取外し方法】

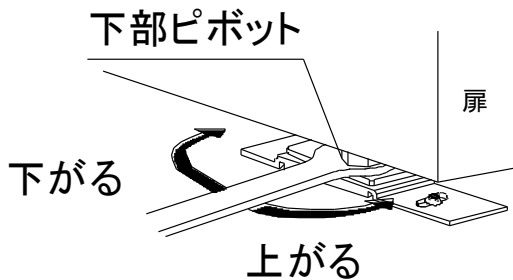
- 扉を折り畳んだ状態にして上に引き揚げ、吊元側の下固定金物から扉の下部ピボットを外しながら、扉の下部部分を手前に引き寄せ、扉を外してください。



■調整方法

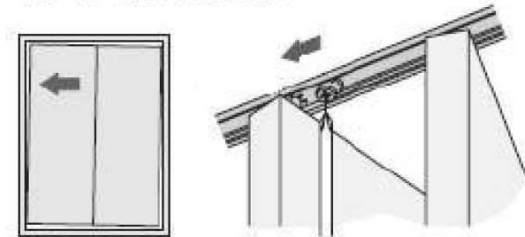
戸の位置が上がり過ぎたり、下がり過ぎている場合
⇒下部ピボットで、上下調整をしてください。

- 戸を開めた状態のまま、下部ピボットの調整部をスパナ(HD-61)回していくと、戸が上下します。

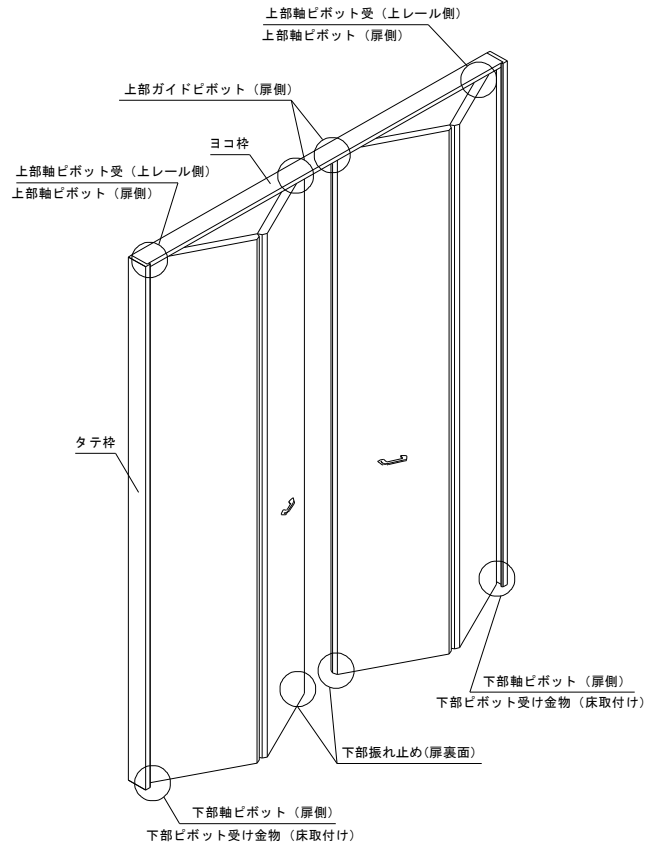
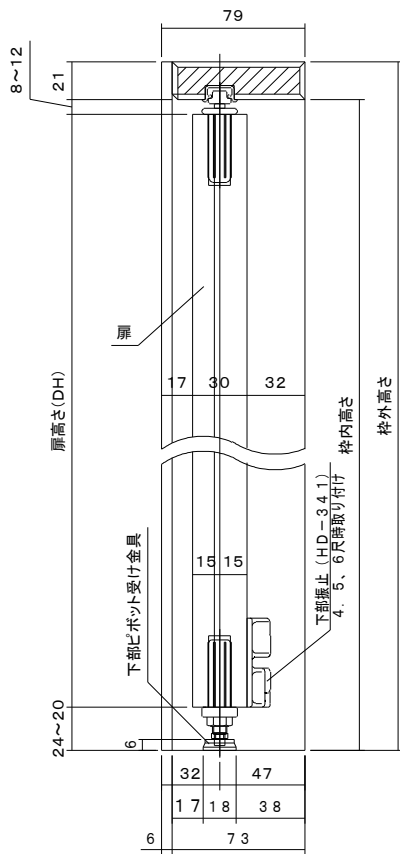


戸が傾いていたり、左右どちらかに寄り過ぎている場合
⇒ピボット受け金具で、左右調整をしてください。

- 例えば、戸が図の様に傾いている場合は、上レールのピボット受け金具(HD-11)を吊元側に寄せて調整します。



※調整後のねじの締め忘れにご注意ください。



お手入れの方法

● 扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤

を薄めて、硬く絞って拭いてください。

シンナー・ベンジン等を使用すると、

表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

また、採光部の樹脂プレートは溶剤

(シンナー・ベンジン)に非常に侵され

やすい為、絶対に仕様しないでください。

○ 使える洗剤・道具



✕ 使えない洗剤・道具



メンテナンスブック(お施主様用)

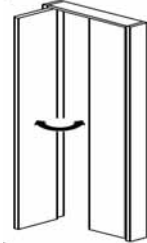
(株)オリエント

オリジナル 両開き収納

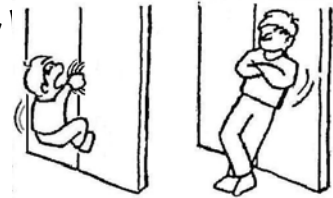
使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

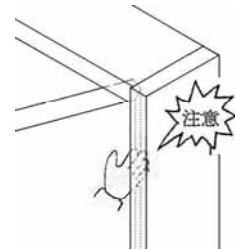
扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



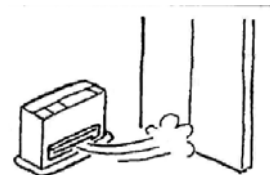
扉の把手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



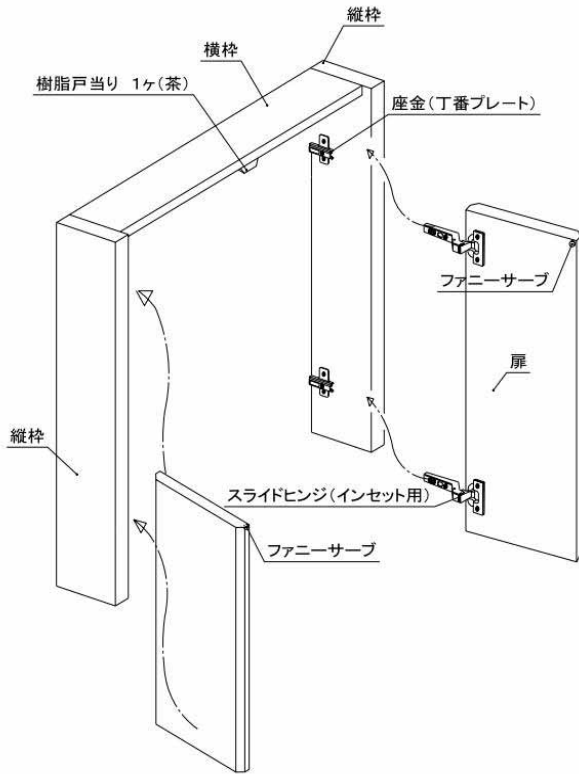
扉に指を挟まないよう吊元側に手をそえて開閉しないでください。
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



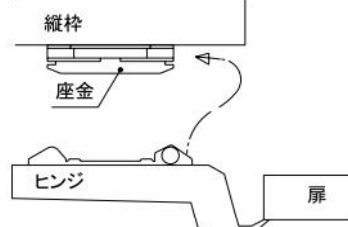
ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



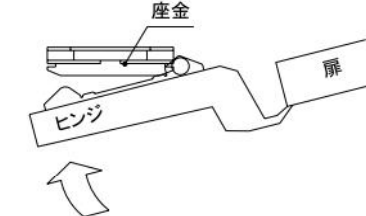
※扉の取付方法



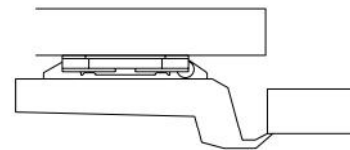
・扉とヒンジを水平にします。



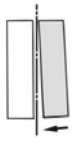
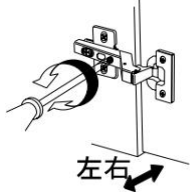

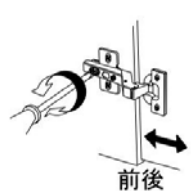
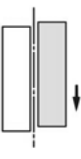
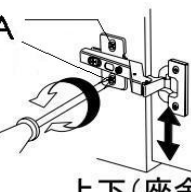
・手前の方から座金にひっかかるように取り付けます。



・最後にヒンジの後ろ(奥)を押して「カチッ」と音がしたら取り付け完了です。



扉の調整

扉の動き	枠と扉の動き	扉の調整方法
例1 	 左右	図のネジを緩める(締める)と、扉が左右に移動します。 例1の状態では、下部ヒンジを左に調整すると是正されます。
例2 	 前後	図のネジを緩め、ヒンジ本体を前後に移動させます。 ヒンジの移動にともない、扉も前後します。 例2の状態では、下部ヒンジを後方へ移動すると是正されます。
例3 	A  上下(座金)	1.扉1枚についている全てのA部ネジを緩めます。 2.扉を上下に動かし、高さを調整します。 3.全てのA部ネジを締め直します。 例3の状態では、扉を下げる調整をすると是正されます。

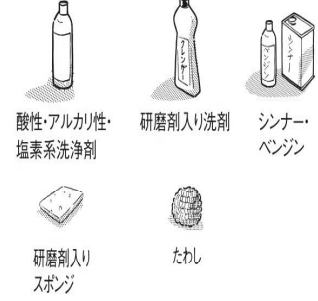
お手入れの方法

扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤
を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、
表面の艶が変わったり、変色して
しまいますので、使用しないでください。

○ 使える洗剤・道具



× 使えない洗剤・道具



メンテナンスブック(お施主様用)

(株)オリエント

オリジナル 室内ドア

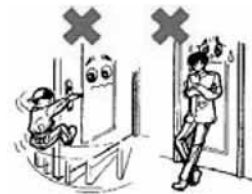
⚠ 使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱くと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



扉の取手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



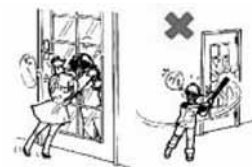
扉に指を挟まないよう、取手を持って正しく操作してください。
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



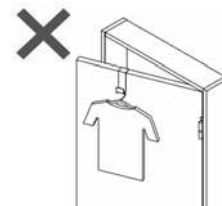
ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



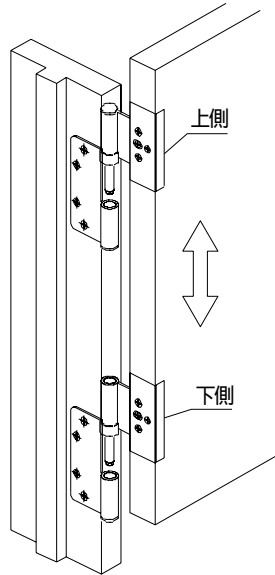
扉にフック等で、衣服や重量物を吊り下げないでください。
扉の表面にキズが付いたり、丁番破損の原因となります。



扉の吊り込み方法

- a 扉のシャフトの位置決めが容易な時
- b 扉を吊り込む時に扉が上枠に干渉しない時

手順 扉のシャフトを枠の上下スリーブ穴の位置に合わせてそのまま落とし込みます。



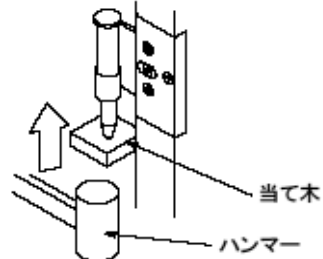
扉の吊り込み方法

- c 扉が重く、シャフトの位置決めが困難な時
- d 扉を吊り込む時に扉が上枠に干渉するとき。

手順

吊り込み方法

※扉を吊り込む前に、上用芯棒を引き上げておきます。引き上げる場合は、当て木をして、ハンマー等で軽く打ち上げてください。



- ①下側の丁番を先に枠側丁番の管に差し込む。
- ②上用芯棒を上げた状態で上用丁番を枠側丁番に引き寄せ、枠側丁番の管に位置を合わせてピンを押し込みます。(ピンの押し込みが硬い時は軽くたたいてください)

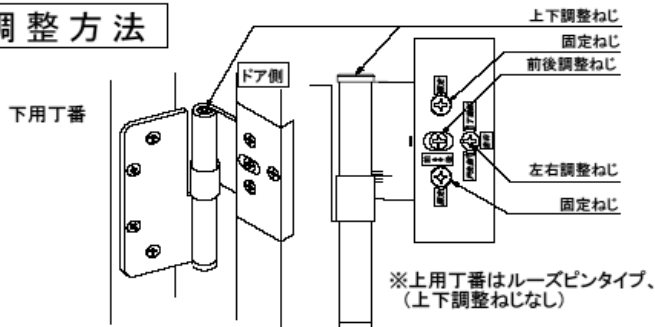
※扉を外す場合は、

上用枠側丁番の管部の下から、ドライバーを差し込み、上用芯棒を下から押し上げ、芯棒を抜きます。

(この時、芯棒は抜けきってしまいますのでご注意ください。…吊り込み易くする為)

3次元調整丁番

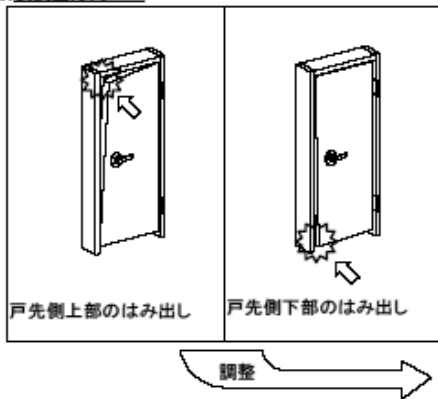
調整方法



① 注意 ※電動ドライバーは、使用しないで下さい。調整ねじが破損する恐れがあります。

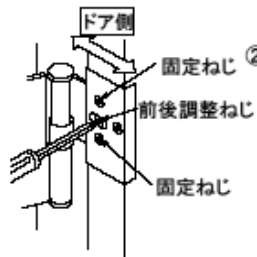
本図は、右吊り元用(R仕様)を示す。
左吊り元用(L仕様)については、左右対称とする。

前後調整方向



前後調整方法

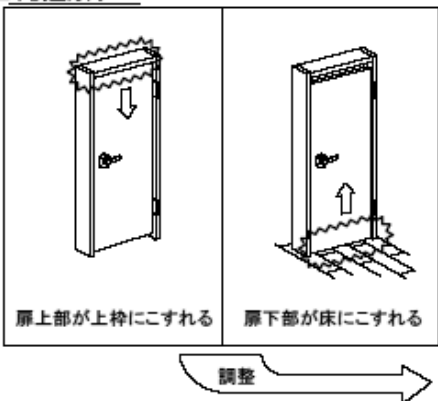
※扉上部がはみ出す場合は、上丁番
扉下部がはみ出す場合は、下丁番
にて調整を行ってください。



- ① 固定ねじを緩める
- ② 前後調整ねじを回す。
寄せたい方向になるまで、
回してください。
※前後調整ねじは、
エンドレスに回転します。
戸当たり側に移動 (2mm)
持ち出し側に移動 (2mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

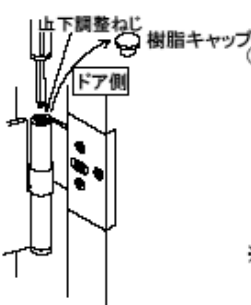
※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。
扉が脱落する可能性があります。

上下調整方向



上下調整方法

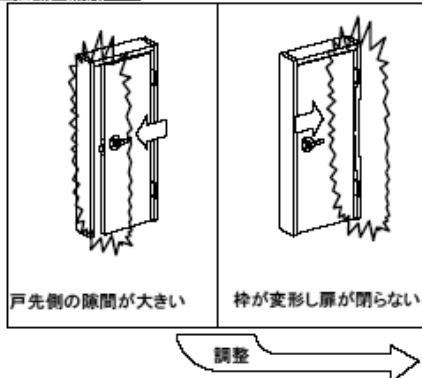
※下丁番にて調整を行ってください。



- ① 樹脂キャップを外す。
- ② 上下調整ねじを回す。
右に回す
・・・上に移動 (2mm)
左に回す
・・・下に移動 (2mm)
- ③ 調整後、樹脂キャップを付ける。

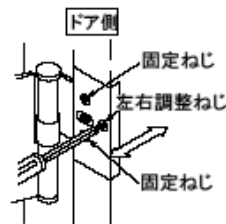
※扉が重すぎると持ち上がらず、
ビットが潰れる恐れがあります。
ネジが回らない時は、扉を持ち上げて
調整するようにしてください。

左右調整方向



左右調整方法

※戸先側の隙間が大きい場合は、
扉が閉まらない場合は、まず、上・下丁番
にて調整を行ってください。

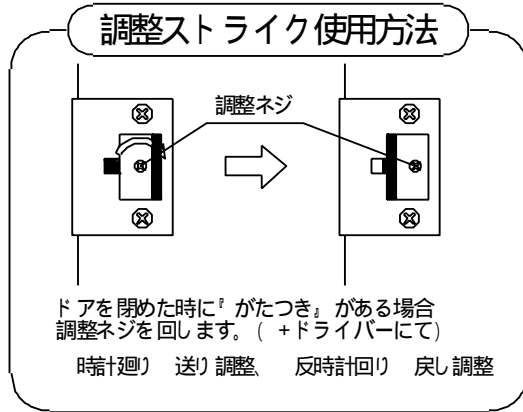
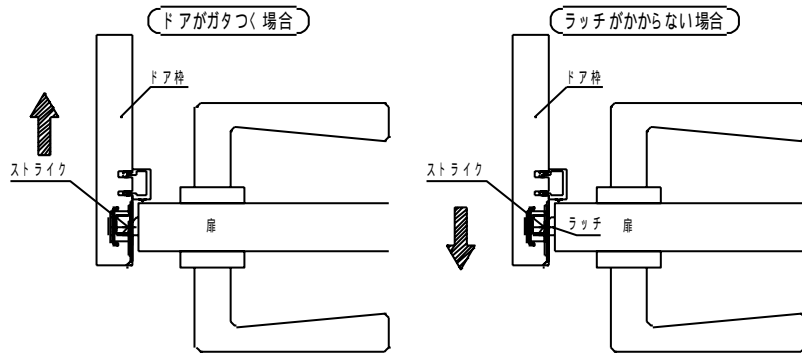


- ① 固定ねじを緩める。
- ② 左右調整ねじを回す。
右に回す
.....戸先側に移動 (3mm)
左に回す
.....吊元側に移動 (0.5mm)
- ③ 調整後、固定ねじを締め付ける。

※調整後は、必ず固定ねじを締め付けてください。
扉が脱落する可能性があります。

ストライクの調整方法

扉ががたついたり、ラッチが掛かりにくい場合は、プラスドライバーでストライクを調整してください。(調整可能範囲4mm)



お手入れの方法

扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤

を薄めて、硬く絞って拭いてください。

シンナー・ベンジン等を使用すると、

表面の艶が変わったり、変色して

しまいますので、使用しないでください。

また、採光部の樹脂プレートは溶剤

(シンナー・ベンジン)に侵されやすい

為、使用しないでください。

○ 使える洗剤・道具



✗ 使えない洗剤・道具



メンテナンスブック(お施主様用)

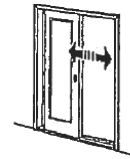
(株)オリエント

オリジナル 室内引戸

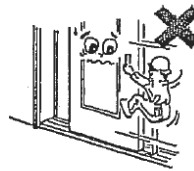
⚠ 使用上の注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

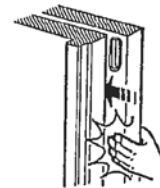
扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱くと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



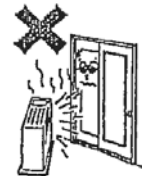
扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



扉と枠の間や、扉どうしの際間に指を挟まないよう、注意してください。
特に小さなお子様には、十分ご注意ください。



ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

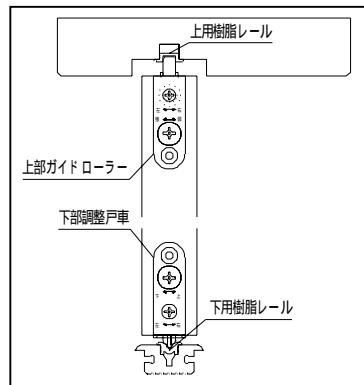


ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れるおそれがあります。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



扉の吊り込み方法

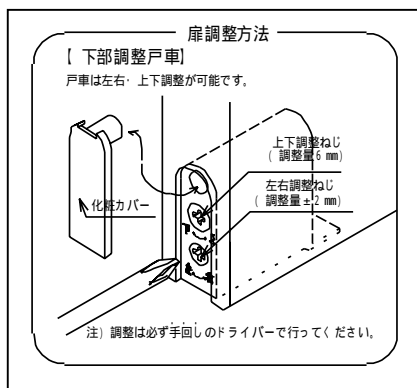
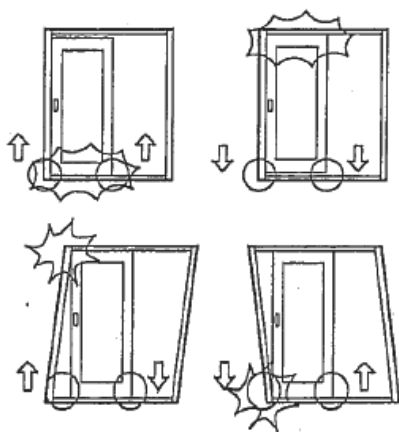
扉上部の上ガイドローラーを上用樹脂レールの溝に合わせ、扉を上げながら下戸車を下用樹脂レールの溝にセットして下さい。



扉の調整方法

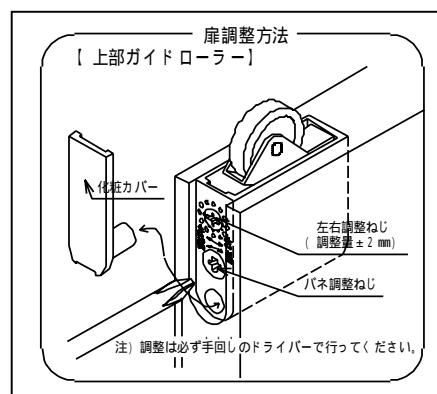
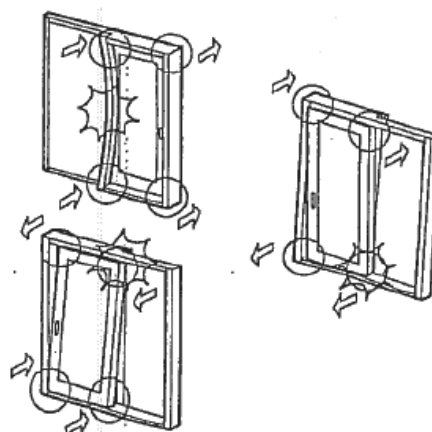
上下調整 (調整可能範囲: 6 mm)

下図のような状態の場合、印のついた箇所の下戸車及び上部ガイドローラーを矢印: の方向に調整してください。



左右調整 (調整可能範囲: 4 mm)

下図のような状態の場合、印のついた箇所の下戸車及び上部ガイドローラーを矢印: の方向に調整してください。



扉のキャッチ力が強すぎたり、弱すぎたりした場合、バネ調整ネジで調整してください。

お手入れの方法

扉や枠の清掃は、乾拭きまたは中性洗剤

を薄めて、硬く絞って拭いてください。

シンナー・ベンジン等を使用すると、

表面の艶が変わったり、変色して

しまいますので、使用しないでください。

また、採光部の樹脂プレートは溶剤

(シンナー・ベンジン)に侵されやすい

為、使用しないでください。

○ 使える洗剤・道具



台所用
中性洗剤



柔らかい布

× 使えない洗剤・道具



酸性・アルカリ性・
塩素系洗剤



研磨剤入り洗剤



シンナー・
ベンジン



研磨剤入り
スポンジ



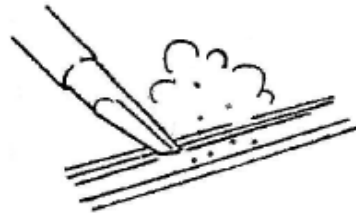
たわし

下レールの溝は、いつも掃除機でゴミ、ホコリ

を吸い取ってください。ゴミがつまっていると

扉の走行障害になり、異音が発生したり

レールの破損の原因となります。



メンテナンスブック(お施主様用)

(株)オリエント

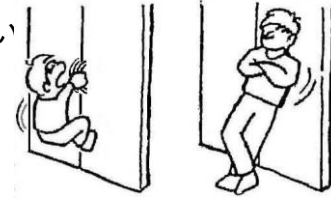
オリジナル 玄関収納

⚠ 使用上の注意

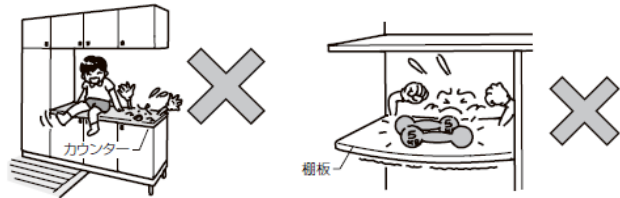
本製品を安全に、また末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこのメンテナンスブックをよく読み、正しい使用方法、使用上の注意事項をよく理解してください。このメンテナンスブックは、いつでも利用できるように大切に保管してください。

- 扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に扱うと扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

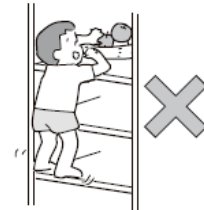
- 扉の把手にぶら下がったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。


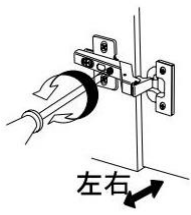
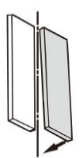
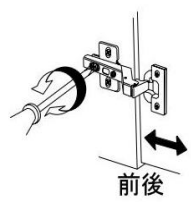
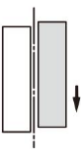
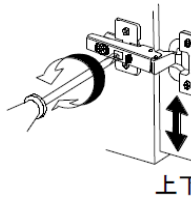


- 各製品の耐荷重をこえる物はのせないでください。
製品のゆがみ、破損事故の原因、破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。



- 棚板に足を掛けたり、よじのぼったりしないでください。
製品が破損・脱落し、ケガをするおそれがあります。




扉の動き		扉の調整方法
例1 	 左右	図のネジを緩める(締める)と、扉が左右に移動します。 例1の状態では、下部ヒンジを左に調整すると是正されます。
例2 	 前後	図のネジを緩め、ヒンジ本体を前後に移動させます。 ヒンジの移動にともない、扉も前後します。 例2の状態では、下部ヒンジを後方へ移動すると是正されます。
例3 	 上下	図のネジを緩め、ヒンジ本体を上下に移動させます。 ヒンジの移動にともない、扉も上下します。 例3の状態では、扉を下げる調整をすると是正されます。

お手入れの方法

● 扉や箱の清掃は、乾拭きまたは
中性洗剤を薄めて、硬く絞って
拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、
表面の艶が変わったり、変色して
しまいますので、使用しないでく
ださい。


○ 使える洗剤・道具



台所用
中性洗剤

柔らかい布

✕ 使えない洗剤・道具



酸性・アルカリ性・
塩素系洗浄剤

研磨剤入り洗剤

シンナー・
ベンジン

研磨剤入
スポンジ

たわし